

Press Release (H29/11/6)

ミャンマーの大学実験教育向上のためのキックオフ会議 および教員研修を実施します

—2017年度 文部科学省「日本型教育の海外展開推進事業(EDU-Port ニッポン)」応援プロジェクト採択—

岐阜大学は、ミャンマーの大学との15年以上にわたる交流をきっかけに、ミャンマー政府の要請に基づき、大学の「基礎実験科学教育の向上」を支援すべく表記「2017年度「EDU-Port 応援プロジェクト」の採択を受けました。支援内容は、物理学実験分野での教育をミャンマー全国の大学で向上させ、その経験を他の自然科学の実験教育に拡大するものです。岐阜大学へ教員を招へいして実験教育の手法を学び、現地での自立した研修システムを稼働できるように支援します。ここでは、国内3社の教材機器メーカーの協力を得ています。

そこで今後の進め方についてのキックオフ会議を現地で開催し、招へいした教員の研修を、下記の日程で実施します。

ついては、当日の取材についてよろしくお願ひします。

記

★キックオフ会議

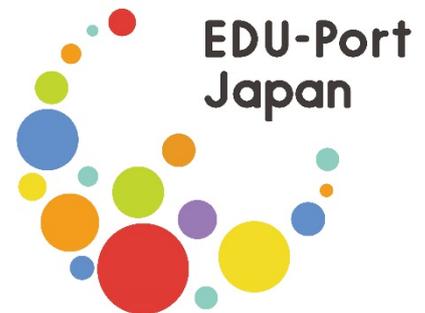
日時 11月7日(火) 13時
～ 11月8日(水) 14時30分
場所 マンダレー大学 学長講堂
(ミャンマー：マンダレー市)

★教員研修

日程 11月17日(金)～11月25日(土)
場所 岐阜大学教育学部3階・理科教育講座(物理学)
研修者 16名

★教員研修(第2回実験物理学教育ミャンマー全国大会)

日程 12月12日(火)～12月14日(木)
場所 ヤンゴン大学 Art Hall (ミャンマー：ヤンゴン市)
研修者 100～150名



参考：

事業名：ミャンマーの大学基礎実験教育の教員研修システム構築

Phase 1. 物理学実験による広い知識と深い洞察力の提供

事業概要：ミャンマーの大学の「基礎実験科学教育向上プロジェクト」の要請に基づき、岐阜大学と日本の教材機器メーカーの協働により、物理学分野において取り組む。アクティブラーニングを定着させる授業研究の研修への招へい・派遣を通じて、シラバス改善、実験書作成などへの支援をもち、他教科や初等中等教育への適用も可能な、継続的に質の高い教育を保証する現地の大学教員を主体とする研修システムの構築を目指す。

【問い合わせ先】

国立大学法人岐阜大学

工学研究科・教育学部 仲澤 和馬

電話 058-293-2246

E-mail nakazawa@gifu-u.ac.jp

